

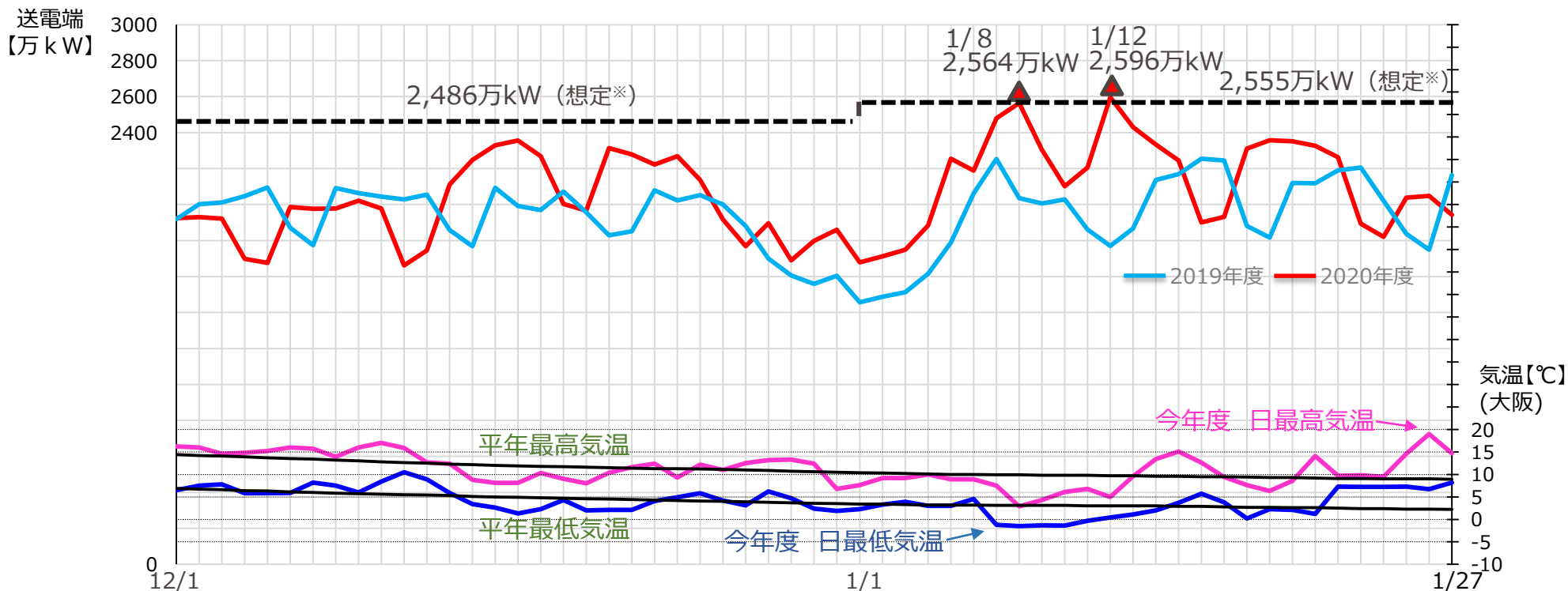
# 関西エリアにおける今冬の需給状況について

2021年1月29日  
関西電力株式会社  
関西電力送配電株式会社

## 【需要】

- 12月中旬および年末年始の気温は、平年に比べ低めに推移し、暖房需要等が増加。
- 1月12日には最大電力が2,596万kWとなり、冬季最大の記録を更新。(2011年の東日本大震災以降、最大)
- 12月1日から1月27日までの電力量は、前年に比べて、6%程度、増加。

### <最大電力 (kW)>



※過去10年で最も厳寒となった気象条件での想定需要

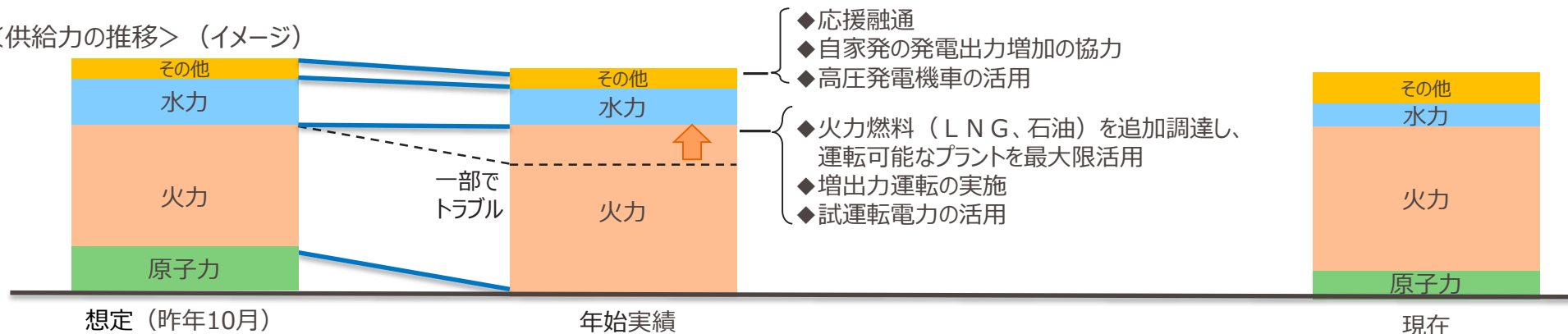
### <電力量 (kWh)>

	2019年度	2020年度	差
12月 (12/1~12/31)	124億kWh	128億kWh	+4億kWh (103%)
1月 (1/1~1/27)	109億kWh	119億kWh	+10億kWh (109%)
合計	233億kWh	247億kWh	+14億kWh (106%)

## 【供給力】

- 原子力発電所の定期検査の延長や火力発電所のトラブル等により、供給力が減少。
- 運転可能な火力発電所の最大限の活用や、広域機関を通じた応援融通等を通じて、供給力を確保。

### <供給力の推移> (イメージ)



## 【電気の使用率の推移】 (当日の最大使用率)

- 12月以降、使用率は90%前後で推移していたが、厳しい寒さが続いた1月上旬には99%に達するなど、ひっ迫した需給状況となった。
- 大飯発電所4号機の復帰などにより、1月中旬以降の需給状況は比較的安定して推移しているが、今後も厳気象や発電所のトラブル等のリスクがあることから、引き続き、安全・安定供給に全力を尽くす。

